



PLUS ULTRA

富キャン Express Vol.20



~ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ~ 白鷺大学足利高校富田校舎広報

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.

アメリカ西海岸旅行記

教頭 中戸 康平



成田を飛び立って10時間、太平洋を越えてロサンゼルスに到着しました。ロサンゼルスはニューヨークに次いで人口の多い、多人数都市ですが、住民は一番多いのがラテンアメリカ系のヒスパニックの人達で、次が白人の人達とのこと。メキシコに近いとはいえ、ちよつと意外でした。見学のバスが走る道路は、片側6車線のフリーウェイ(無料の高速道路)。フリーウェイを疾走している車の約4割は日本の車で少し誇らしい気分でした。

さて、見学の1日目はカリフォルニア随一のサンタモニカのビーチ。青い海を見ながら食べた定番のハンバーガーとフライドポテトに、生徒達はアメリカに来たことを実感したようです。

2日目最初の見学地は、SSH学習の二環で訪れたカリフォルニアサイエンスセンター。スペースシャトル・エンデバーを目の前にして、富キャンの「宇宙兄弟」連はとても感激して見ました。次の見学地は映画の都ハリウッド。アカ

ド。アカ



ユニバーサル・スタジオにて

デニー賞の授賞式やレッドカーペットで有名なドルビーシアターと、スーパースターの足型が刻まれているプロクタイルで有名なチャイニーズシアターを見学しました。生徒達は、足型の上に自分の足を置いて大きさを比べて喜んでいました。

3日目の見学地は太平洋沿岸の大都市サンディエゴ。メキシコとの国境にあり、中東に地形が似ているという理由で、世界最大と言われるアメリカ太平洋艦隊の基地が置かれています。ここで見学したのは、第2次世界大戦後の歴戦のつわもの、空母ミッドウェイ。生徒達は、サンディエゴを訪れたことにより、アメリカが世界一の軍事大国であることを肌で感じたのではないのでしょうか。

4日目は、3コースから選ぶオプション形式の見学の日。ウォルト・ディズニーの夢の原点、夢と魔法の王国のディズニーランド。「ジョー」キング「キング」などの映画づく

りの仕組みや秘密を知ることが出来るユニバーサル・スタジオ。ルーズベルト大統領に「全てのアメリカ人は生涯に一度はランドキャニオンを訪れるべき」と言わしめた、大自然の王者ともいえる世界遺産のランドキャニオン。この日、生徒達は得意の(?)英語を使って、自分の選んだコースを日たごぶり楽しみました。

5日目(最終日)の見学地は世界有名数々の名門校 UCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校)。医学部は特に有名で、マイケル・ジャクソンが緊急搬送されたのはこの大学のメディカルセンターでした。日本からの学生が少ないのは残念ですが、実は富田校舎の卒業生の中に、数年前に UCLA に短期留学した卒業生が一人いて、先輩が後に続くことを期待してるところです。

最後に、アメリカという異文化の国を訪れて、改めて日本の良さに色々気づいた生徒も多いと思いますが、どこの国にも良い点と悪い点があります。訪れた国の良い点を積極的に取り入れて、自分達の生活の中で生かしていくことが真の国際交流ではないのでしょうか。

MCCDS 語学研修

9月25日から10月2日までの8日間、姉妹校である米国マディソン・カントリー・デイ・スクール(以下MCDS)へ17名の代表生徒が派遣されました。MCDSの生徒



MCDS日本語教室にて

の家庭にホームステイしながらMCDSへ登校し、バディと一緒に授業や学校行事などに参加しました。また、今年の6月にMCDSより本校へ9名の生徒が訪問しました。そのため、生徒にとってはMCDSの生徒に再会する機会にもなりました。

今回MCDSを訪問中に、本校生徒は英語で日本文化をMCDSの小学生に紹介する機会に恵まれました。日本のお菓子についてのクイズや試食、折り紙で筆を折る方法の紹介などをグループごとに行いました。MCDSの小学生にとっては、どれも初めての経験ばかりなので、とても熱心に生徒の話に耳を傾けてくれました。また、生徒にとっても、日頃学んできた英語を実際にネイティブスピーカーの前で使う絶好の機会になりました。できない貴重な体験をしました。

生徒達には米国での国際交流を通して、本校に新たな異文化理解の機会をもたらしてくれることを期待しています。

修学旅行(西海岸) 太平洋を越えて、 西海岸修学旅行

11月5日から10日にかけて2学年の生徒141名がアメリカ西海岸へ修学旅行に行きました。

約10時間のフライトを終え、着いたロサンゼルスに生徒は驚きの連続だったようです。日本とは全く違う景色・文化に触れ新たな視野が広がったことが何より爽りある時間であったと思います。

修学旅行(西海岸) take it easy! 特別選抜コース2年1組 堀内 洋香(笠懸南中)

サンタモニカの砂浜に立ち、私は一気に解放された気持ちになりました。出発前に抱いていた旅行の不安が、真新しい景色に溶かされ、楽しい気分になりました。

修学旅行での見どころはいくつもありました。サイエンスセンター、UCLA、ミッドウエー、ハリウッド...など。しかし、その中でも圧倒的な印象を残したのはグランドキャニオンです。それを見たとき私は足がすくんでしまいました。富士山のようなならかさはなく、ひたすら力強く美しい景色でした。果てまで広がる壮大なスケールに、圧倒されました。

日本に帰ってきて思うことは、こちらが、修学旅行の生徒であるうと、現地の方は寛容に接してく

れるということだと思います。行く前の語学力への不安がいかに取るに足らないことを思い知りました。自分がコミュニケーションにおいて単語に重きをおいているために生まれる悩みだと感じました。それより大事なものは親しみをもちて伝えようとする姿勢です。仲間と支え合い、現地の人と意思疎通を図ろうとしたその時間も私の人生の財産となるでしょう。



サイエンスセンターにて

オーストラリア語学研修 豪に入れば豪に従え

11月5日から12日にかけて2学年の生徒16名が豪州に語学研修に行きました。

「日本語禁止」「オージースタイルで」。この語学研修では、観光のみではなく、豪州の生活そのものを体験しました。

生徒たちは、慣れない英語や生活に戸惑いつつも楽しみながら、多くの出会いを経験し、素晴らしい思い出をつくっていた様子でした。

一期一会 オーストラリア

語学研修に参加して 進学コース2年3組 小関 真愛(佐野城東中)

私はこのオーストラリアでの語学研修を通して沢山の人と出会い、多くのことを学びました。

ホームステイで何を話せばいいのか、ホストファミリーが何を話しているのか、常に頭をフル回転させ、英語に埋もれた生活をしたのは初めてでした。今すぐにも日本に帰りたいと思った3日目の夜、帰りたくなくて泣いた最後の夜、ここまで内容が濃くて、短いようで長く、長いようで短いと感じた一週間も初めての経験でした。

語学学校の校長先生が最後に言いました。「旅は一期一会。もう会うことは無いからこそ、出会いを



Sun Pacific Collegeにて語学の先生と

大切にしくちやいけいない。」私はその通りだと感じました。この8日間は人生のごく一部にすぎないけれど、多くの方の優しさにかた、沢山の愛情をもらいました。このどれもが、英語がつかないだ絆です。英語でコミュニケーションを取る事がこんなにも夢があるかと教えてくれたこの語学研修は一生の宝物です。

修学旅行(沖縄方面) 沖縄の歴史と 文化に触れて

11月6日から5日間、2学年の生徒27名が沖縄へ修学旅行に行きました。

好天に恵まれ、石垣島、竹富島、沖縄本島にて様々な体験をしました。平和学習では沖縄の凄惨な歴史に触れ、多くの生徒が平和への思いをより一層強くしたようでした。今回の旅行での数多くの経験が自己開拓に繋がることを期待しています。

ひめゆりの塔 を訪れて

進学コース2年1組 塩見 晏菜(館林第三中)

修学旅行で訪れた沖縄でのすべての経験は私にとって最高の思い出となりました。

その中でも4日目に訪れたひ



玉取崎展望台にて

めゆりの塔はとても感慨深く、実際に戦地となった沖縄でこそ学べたことが多くありました。ひめゆりの塔の資料館では誰がどのようにして亡くなったのか鮮明に綴られた記録があり、それを読みただけでその瞬間が目の前で起きているような恐怖に襲われました。その他にも戦争を経験した方々の証言ビデオもあり、戦争という誰もが狂気に満ちてしまつような環境の中、将来に対する希望を持ち続けてせつかく生き延びたにも関わらず、「生き残ってしまったことに申し訳ない」という気持ちしかない。と誰もがそう語っていたことには大変驚きました。当時は、お国のために死ぬことこそ幸せなことだと考えられていたので、現代を生きる私たちがしっかりとそのことを理解する必要があると思いました。これから私たちが若い世代が社会を担っていきます。より多くの人々が日本の歴史を知り、戦争の残酷さを後世に伝えていくべきであると強く思いました。

ハワイ語学研修

平成27年11月5日から12日の日程で、中高貫教育コースの2年生がハワイ海外研修旅行に行ってきた。前半はマウイ島でホームステイを行い、後半は飛行機でオアフ島に移動し、ワイキキビーチ、カメハメハ大王像等を観光しました。全ての経験が、今後の人生への大きな糧になったのではないのでしょうか。

ハワイ語学研修

旅行を終えて

中高貫教育コース2年1組
野村 侑里(白鷗大足利中)

私たちは、7日間のハワイ海外研修旅行に行き、3日間はマウイ

島でホームステイをし、残りをオアフ島で過ごしました。ハワイはポリネシアの伝統を今日に至るまで色濃く残している国です。オアフ島にはホノルルなど、目覚ましく近代化が進んだ都市もありますが、伝統あるマウイ島は澄んだ海と空に囲まれ、時の流れも忘れてしまう程、自然豊かな場所でした。

ハワイは、日本人を祖先にもつ、「日系」の人々が多いことでも有名です。私のステイ先が成瀬さんという日系の方だったこともあり、今回日系文化を身近に感じる事ができました。彼らの容姿から親近感が抱くものの、英語で会話するため、非常に不思議な感覚を覚えたことが印象に残っています。

日系一世の人々はハワイに渡り、慎ましくも誇りある人生を送



ハワイ修学旅行(カメハメハ大王像前)

りました。その為、彼らは自身のルーツを大切にしています。今回、新たな日本の姿に私は出会うことが出来、この経験から、今の私が私でいられることは、当然のよう

第21回合唱祭

熱気に包まれたシーガルホール

11月20日、第21回富田校舎合唱祭がシーガルホールで開催されました。課題曲のSEKAI NO

OWARI 作詞・作曲の『プレゼント』と各クラスそれぞれの自由曲が披露されました。高校生活最初で最後の合唱祭なので、各クラスとも全員で協力して、練習に励んできました。どのクラスも美しいハーモニーで、優秀つけ難く、結果は、合唱祭始まって以来初の2

チーム(3クラスの)の最優秀賞受賞となりました。

第二部は、本校出身のミュージカル俳優の本田育代さんに



ゲストの本田さんによる独唱



最優秀賞 特別選抜コース1年2組・中高一貫コース1年1組(合同チーム)



最優秀賞 進学コース1年4組

よるミニコンサートが行われました。パワフルなプロの歌声を満喫し、思い出に残る2日となりました。

第21回 合唱祭 結果

最優秀賞

特別選抜コース1年2組
中高一貫教育コース1年1組
進学コース1年4組

最優秀指揮者賞

進学コース1年3組
宮内 大くん(笠懸中)

最優秀伴奏者賞

進学コース1年1組
出井 優佳さん(羽生東中)

一日体験学習

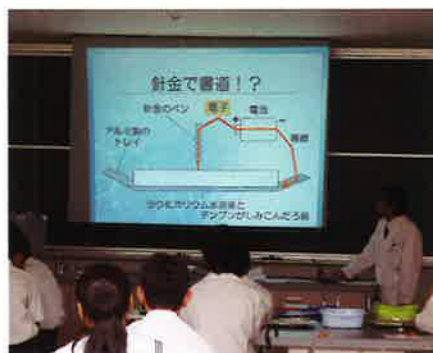
8月29日・30日に、栃木県内外の多数の中学校から、2000名を超える中学生や保護者の方々を迎えて日体験学習が行われました。シーガルホールでは、生徒会の生徒による、学校紹介のプレゼンテーションが行われ、授業の様子や修学旅行、体育祭・文化祭などの学校行事が紹介されました。また、各教科で14もの模擬授業



小説の読解

が開講され、実践的な授業体験が行われました。外国人講師との英会話を体験する「英語体験Tower」、小説から少年少女のデリケートな感覚を読みとる『小説の読解』、国旗から国の歴史を学ぶ『国旗を見比べよう』、化学反応を利用して文字を書く『針金で書道』、ハノイの塔というゲームから数の決まりを見つつける『数のきまりを見つけよう』など様々な内容の講義が行われました。

実験や映像を用いてわかりやすくユニークな授業で、担当した先生方の工夫と熱意で大変興味深いものとなりました。受講後のアンケートには、「授業が分かりやすく、先生方がとても熱心だった」、「校舎が綺麗で設備が充実している」など多数の意見が寄せられました。参加者の皆さんに富田キャンパスの雰囲気をも十分に味わってもらうことができた2日間でした。



針金で書道

富田校舎体育祭 新競技「ハリケーン」

去る9月29日に体育祭が行われました。今年度は久々に「ハリケーン」という新競技が加わり、例年以上の盛り上がりを見せました。生徒会から発案されたこの競技は学年対抗で争う競技です。これまでの競技はクラス対抗が基本でした。そのため、1年、2年、3年と各学年クラスを越えて他学年を打ち負かそうと団結していました。その様子はとても新鮮なものに映りました。結果は3年生、2年生、1年生の順で、やはり長く一緒に過ごしてきた3年生がそのチームワークを見せつけました。

総合優勝は進学コース3年5組、準優勝は進学コース3年3組、第3位は進学コース3年2組



新競技ハリケーン



全学年の女子生徒による人文字

平成27年度 富田校舎体育祭 結果

総合	優勝	進学コース3年5組	学年	第1学年 優勝	進学コース1年3組
	準優勝	進学コース3年3組		第2学年 優勝	進学コース2年1組
	第3位	進学コース3年2組		第3学年 優勝	進学コース3年5組



全力で網球

ス3年5組、2学年が進学コース2年1組、1学年が進学コース1年3組でした。位は進学コース3年2組と、3年生が最後の体育祭で大健闘しました。また、3年優勝は進学コース3年が3年優勝は進学コース1年3組でした。

挑戦



生徒会副会長 小川 将慶 (館林一中)

体育祭は、私が生徒会副会長として臨む、最後の活動でした。1年前、現生徒会が開始したときの公約の一つに体育祭に新競技を追加するというものがありました。クラスの男女比、用具の有無などからどんな競技なら実現可能か、連日生徒会で話し合いました。先生方とも相談し、やっと叶ったのが「ハリケーン」でした。本音を言えば、もっと多くの競技を追加したかったです。しかし、体育祭当日、「ハリケーン」に参加した人、応援していた人、多くの人から「楽しかった」という声を聞き、生徒会の活動が報われたような気がしました。

まもなく新生徒会が発足します。歴代生徒会の伝統と意志を引き継ぎ、生徒会活動のさらなる充実を目指し、挑戦してほしいと思います。



一学年 大学見学

都内4つの大学を訪れて

11月6日、1年生の大学見学が実施されました。今年度は慶應義塾大学、上智大学、中央大学、明治大学の4つの大学から、希望する大学をそれぞれ訪れました。

どの大学を訪れた生徒も、充実した施設や意欲的な学生達の姿に感銘を受けていました。今後の学習への意欲向上に繋がる貴重な経験となったようです。



明治大学創立者である岸本氏の胸像



慶應義塾大学 ザ・カフェテリアにて



中央大学 学校説明の様子



上智大学にて

富キャンExpress vol.20 題字の右側のカメラのロゴは富田キャンパス文芸イラスト同好会の生徒の作品です。お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。

編集 富キャンExpress 係
発行 白鷺大学足利高等学校富田校舎
足利市多田木町1067
0284-912633
足利印刷株式会社
平成28年1月5日